

ポリテクセンター秋田 生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター

実施機関名： 有限会社ネオリブラ

| | | |
|-------------|---|--------------|
| B. 組織マネジメント | リスクマネジメント | 事故をなくす安全衛生活動 |
| コースのねらい | 職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得する。 | |

| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) | |
|---|---------|--|---|-----|
| | 1 | 安全衛生概論 | (1) 企業における安全衛生の意識 企業は、「いついかなるときにも人を守る」使命を持っていることを忘れてはなりません。全社員が安全衛生に必要な基礎知識を理解共有し、かつ健全に職務遂行するための習慣的行動に落とし込むための基本について確認します。 視点：安全衛生とは、知識を習慣化するには | 1.0 |
| | | | (2) 災害発生のメカニズムと安全衛生関連の基礎知識 労働災害が発生する原因は、労働者の不安全行動、機械や物の不安全状態(事故が発生しうる状態、また事故の発生原因を作り出されている状態)があると考えられています。労働衛生面と産業安全面から全体観を持ちつつ自社の安全衛生レベルを高める視点について学びます。 視点：不安全行動と不安全状態、安全衛生レベル | 1.0 |
| | 2 | 企業における安全衛生活動 | (1) 危険予知につながる安全パトロールとヒヤリ・ハットの概要 人の活動にはヒューマンエラーが付いて回ります。可能な限り事故発生リスクを減らす歯止めの活動が安全衛生パトロールです。ここでは、危険予知やヒヤリ・ハットを減らすための日々の言動と組織風土の大事さ、についてポイントを確認します。 視点：ヒューマンエラー、ヒヤリ・ハット、危険予知と組織風土、など | 1.0 |
| (2) メンタルヘルスと衛生的な職場環境の整備 安全衛生活動の全体マネジメントに必要なチェックリスト、リスクレベルに応じた個別点検チェックリスト、など、必要とする視点の全体像を共有します。また、メンタルヘルスに影響を与える日頃のコミュニケーション環境についても共有します。 視点：リスクレベルに応じた点検リスト、メンタルヘルスとコミュニケーション環境 | | | 1.0 | |
| 3 | 点検による管理 | (1) 安全衛生リスクレベルに応じた点検 思いつきで場当たりの安全衛生活動は一時的な効果しか発揮しません。効果的かつ継続的な活動とするために、リスクレベルに応じた点検の体制づくりについて共有します。 視点：すべての基本は5Sから、リスクレベルに応じた点検 | 1.0 | |
| | | (2) 点検チェックリスト作成のポイント 人は「慣れる」ことにより生産性を高めると共に、危険や事故に対する「認識」が低下する傾向があります。いつもの職場で一歩立ち止まり客観視する機会があることで認識低下を防ぐことができます。ここでは、目的を明確にした機能する点検チェックリスト作成のポイントを確認します。 視点：「認識」の構造、目的に応じたチェックリスト、など | 1.0 | |
| 合計時間 | | | 6.0 | |